

はじめに

これまでの大量生産・消費・廃棄の社会システムがいま大きな困難に直面し、特に資源枯渇と環境負荷の増大は、人類の持続的生存さえも危うくしています。本年12月に京都で開かれる「地球温暖化防止京都会議」は、まさにそのような状況に対処するための国際的取組であり、この成否は人類の将来を大きく左右するとさえいえる重要な会議であります。京都市はそのホスト市として、これまでのホスト市がそうしたように、持続的社會への変革の方向を指し示す優れたモデルを提示することが世界から期待されています。

この「京（みやこ）のアジェンダ21」はそのために、これから京都市が目指そうとする新たな社会の理念と目標を明らかにし、それを実現に結び付けるための基本的な方向性と、行動の指針をまとめたものであります。アジェンダは、その本質からいって、市民すべてが主人公であることは言うまでもありません。そこでこの作成にも市民、事業者、行政が一体となって取り組みましたが、これを実行する段階にもすべての主体がそれぞれの立場で主人公となり、しかも全体が密なパートナーシップを形成して関わるものであることは当然です。

そこで、この「京（みやこ）のアジェンダ21」がこれからの各主体が具体的に行動するための指針とし、“地球にやさしい”21世紀の持続的社會の姿を京都から世界に発信することに役立つことを期待するものです。

平成9年10月31日

京のアジェンダ21検討委員会
委員長 内藤 正明